

◆新潟シティマラソンについて

関屋小学校区スポーツ振興会 宮原 清一郎

平成22年10月10日新潟市のスポーツ大イベントの新潟シティマラソンが開催されました。一昨年のこのマラソンは5,700名のランナーの参加でしたが、この度はコースも中心街に変更し、8,300名のランナー参加となりましたが、それに伴いボランティアも3倍となりました。

関屋小学校区はコミ協32名、スポーツ振興会31名が32.5キロスポンジポイントと海浜公園からマリンピア迄の走路監視を行いました。



当日は好天に恵まれましたが、気温が高く残念ながら約1,000人の方がリタイアとなりましたが、ボランティアや沿道の方々の声援は心強いものとなった事と思います。

今年も昨年同様開催が予定されております。その際は昨年以上に一人でも多くのボランティアでのご参加、また沿道での応援をお願いしたいものです。

住宅用火災報知器の設置について

消防法の改正により義務づけられた住宅用火災報知器の設置期限が、本年5月末日に迫って参りました。関係当局の懸命な呼び掛けにもかかわらずその目的の達成にはほど遠く新潟市に於いては50%の達成率のようです。認識度の高い糸魚川市は80%の方が設置されておられます。

自分たちには火災は無縁なもの、設置したいがどうすればよいのか分からないという理由で設置されていない方がおられますが、どんなに気をつけても失火を防ぐことが出来ない場合も有りうるのです。又どうすればよいのか分からないお方は自治会長なり白山浦の消防署【☎266-0119】にお聞きください。御高齢な世帯には是非自治会は積極的に相談に乗ってあげてください。

*編*集*後*記*

平成22年度もあとわずかとなりましたが、当コミュニティ協議会でそれぞれの分野で活躍された人々の報告を、この広報誌に乗せて頂きました。また予期せぬ大地震がおきました災害に備えて我々も当地区で防災訓練が是非必要です。当地区では一部の地域にしか防災組織がなく大多数の町内ではございません。住民の皆様どうぞ協力して防災組織を立ち上げて下さい。

(総務部編集チーム)

関屋小学校区 コミュニティ協議会だより

第6号

発行 平成23年3月
「関屋小学校区コミュニティ協議会」
総務部広報係

会長の挨拶

関屋小学校区コミュニティ協議会

会長 橋本 敏 郎

コミュニティ協議会の運営についてはお陰さまで、皆様からのご指導、ご支援を頂きながら活動も軌道に乗って参りました。

今年度の関屋小学校区コミュニティ協議会は毎月会議を開き各分野での活動の報告や、これからの運営について等の話し合いを活発に行う事ができました。

特に地域の皆様が住みやすくなる様、民生委員を中心としたお年寄りへの心づかひや、親子で楽しめる行事を育成協の皆様から行ってもらったりしました。

またその他の分野でも色々な活動が行われました。

これからもこの地域の活性化をめざし、皆で発展させて行きたいと思っております。



コミュニティ協議会の現況と問題点

小学校区単位にまとめコミュニティ協議会を設置致しました新潟市は活動面からの資金的なバックアップを補助金制度の活用に求めているようです。然しながらこの制度のもう一方の受け皿となるコミュニティ協議会を構成する町内会、自治会の実態を見るとき問題点が多く残されておるのではないのでしょうか。この問題を解決するには市は町内会側にまかせるのではなく積極的に関与しコミュニティ協議会の運営面等の課題の解決に努めなければ、必ずや市が期待するコミュニティ協議会は形骸化し、組織はあるが中身なしの状態が生じてくるのではないかと考えられます。(総務部)

◆「緊急医療情報キット」を配布しました

関屋地区社会福祉協議会
会長 本間 之子



この度関屋地区社会福祉協議会は、中央区より「独り暮らしの高齢者等見守りネットワーク事業」の「22・23年度モデル地区社会福祉協議会指定」を受け、関屋小学校区コミュニティ協議会と関屋地区民生委員児童委員協議会との協力体制のもと協議を重ねた結果、22年度は73歳以上の「独り暮らし、及び高齢者のみ世帯」378世帯に「緊急医療情報キット」を配付し、緊急時対応の仕組みづくりに取り組みました。対象者には配付したプラスチックの筒の中に記入した安心カード「医療に関する個人情報」を入れて頂き冷蔵庫に保管して頂いております。自宅で具合が悪くなり救急車を呼ぶなど「もしも…」の時の安全と安心を守る、緊急情報として活用できます。

23年度は対象年齢を下げて地域の高齢者の見守り活動の為に「緊急医療キット」を400世帯に配付するよう計画しております。

◆ 学校町友愛の会「熟年者の集い」

会長 本間 之子

地域の菅原神社事務所毎月一回第四金曜日に「熟年者の集い」を開催しております。きっかけは、社会福祉協議会の友愛訪問事業でした。対象者への友愛訪問の際、高齢者の方々から地域の仲間同士の居場所が欲しいとの要望が多くあり、この会を立ち上げて10年になります。65歳以上の独り暮らしの方、高齢者のみの方々、日中高齢者のみになる方々が会員です。「楽しいよ」と会員の呼び掛けで関屋田町、松波町、水道町、旭町等、地域周辺の参加者も増え、地域の輪が広がっています。ともに食事をし演芸を楽しんだり、唄を歌ったり、時には身体によいお話を聞き勉強したり、健康体操で体力をつけたり、手芸で習った作品を沢山作り、人に差し上げて喜ばれたり、それぞれの楽しみを見つけています。また場所を変えての「秋の日帰り温泉旅行」「お正月の新年会」も楽しみのひとつです。楽しみを共有する仲間を募集しています。

連絡先は ☎267-0508「本間」まで



◆新年お楽しみ会

育成協議会健全育成部 木佐貫 孝子

大雪にもかかわらず、たくさんの皆さんに参加をいただき関屋地区「新年お楽しみ会」を無事開催することが出来ました。関屋小学校1年生製作のじゃんぼかるたとりで始まり、羽根つき、独楽回し、子どもたちだけではなくおとなの方にも参加をいただき、お正月の遊びをみんなで楽しむ事が出来ました。そしてお正月に相応しい新潟市ジュニア邦楽教室の子供たちの奏でる箏・三味線・尺八の音色は、初めての子どもたちも多く興味深く演奏に耳を傾けていました。お餅つきでは、4臼並べてみんなで一斉につきました。関屋小学校5年生に寄付して頂いたお米は子どもたち、地域の方、先生方、保護者の手でおいしいお餅となり、みんなでおいしくいただき、地域のみなさんと過ごす楽しい1日となりました。ご協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。



◆絵本に寄り添われて

スタジオMAMA 長谷川 紀子

絵本好きの母親たちの集まりがよみきかせを始めて、早7年。私たちは主に、ふれらん前の1年生に月2回、それから夏と冬の読書週間中に、1年生から6年生へよみきかせをしています。絵本の選定から始まり、プログラムを作っては練り直し、練習を重ね、大変な事も多いのですが・・・子どもたちの笑顔や驚嘆の声、思わずもれるユニークな吹き、などに背中を押し続けてもらっています。

何より、これだ、と思う絵本に出会った時の最良の喜び!! 大人も子どもも魅了してやまない絵本たち。絵本は宝物であると同時に生活の一部であり、私たちにそっと寄り添い、心の中で小さな灯りとなって前に進む力を与えてくれています。

